

自ら学び、創造する人材へ



～ 現役開発エンジニア必見！～

Withコロナ時代に企業が欲しがる

“IT人財”になるための 5つのポイント





資料概要 ————— P.03

企業が欲しい！“IT人材”になるための5つのポイント

POINT 1 : リモートワークでも積極的にコミュニケーションが取れる ————— P.04

POINT 2 : 自ら積極的に課題を解決できる ————— P.05

POINT 3 : プロジェクト全体を俯瞰して適切なアクションを取れる ————— P.06

POINT 4 : 複数の言語を扱えるマルチプレーヤーである ————— P.07

POINT 5 : 基礎がしっかりしており、部下や同僚を教育できる ————— P.08

“IT人材”になるためのポイント まとめ ————— P.09

短期間で開発の基礎力が身に付く！ ジョブサポートの「短期入門・基礎講座」 — P.10

「短期入門・基礎講座」サービスメニュー ————— P.11

お問い合わせ ————— P.12



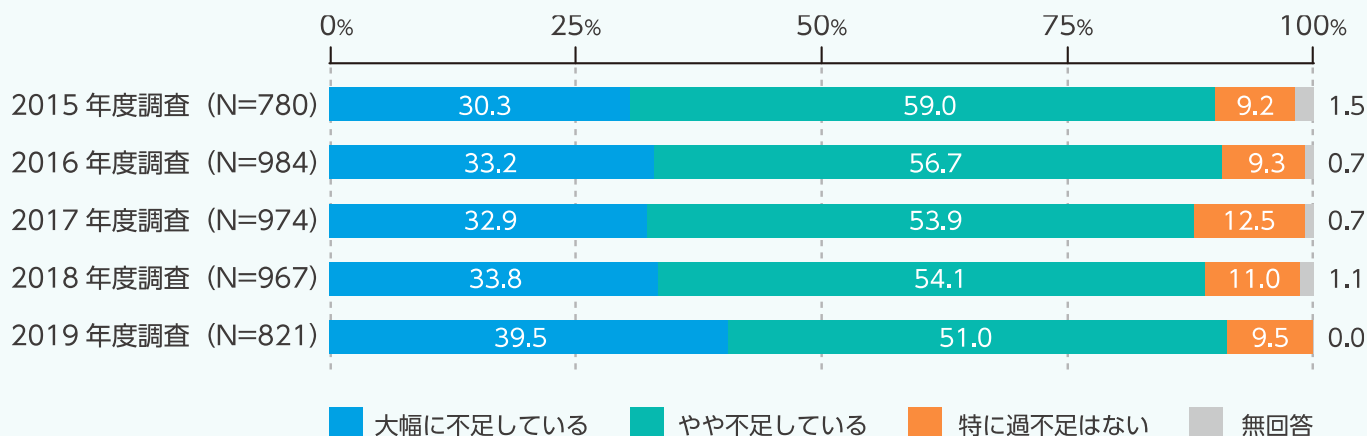


国を挙げたDX（デジタルトランスフォーメーション）推進への取り組みが進む中、**企業におけるIT人材の需要は大幅に高まっています**。実際、2019年度におけるユーザー企業のIT人材“量”に対する過不足感に関する調査（※）では「大幅に不足している」が39.5%、「やや不足している」が51.0%という結果が示されています。

一方で、IT業界におけるトレンドの移り変わりはこれまで以上に加速しています。そのため、今まさに活躍しているIT人材であっても、**現有の技術やスキルに固執してしまえば、将来的に企業からの需要がなくなってしまう可能性も少なくありません**。

そこで、本資料では現役の開発エンジニアの方に向けて、**今後長期にわたって企業から必要とされる“IT人材”になるための5つのポイントを解説**します。

ユーザー企業のIT人材“質”に対する不足感【過去5年間の変化】



（※）独立行政法人情報処理推進機構（IPA）社会基盤センター「IT人材白書2020」より引用



POINT

1

リモートワークでも積極的にコミュニケーションが取れる

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、多くの企業がリモートワークを導入しました。

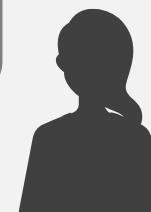
リモートワークでは当然ながら、従来のように対面で会話をする事ができません。そのため、円滑にコミュニケーションが取れず、情報共有に遅れや抜け漏れが出てしまうケースも少なくありません。

そこで普段からチャットツール やオンライン会議を活用して、**上司や同僚と積極的にやり取りできるコミュニケーション能力を身につけておくことが不可欠**です。



チャットツール やオンライン会議ツールを活用して、上司や同僚と密にコミュニケーションを取っている。

電話やメールによるコミュニケーションで情報共有の遅れや抜け漏れが増えた…。





POINT

2

自ら積極的に課題を解決できる

4ページで解説したように、リモートワーク中はプロジェクト進行上の課題が発生しても、相談できる上司や同僚がすぐ近くにいるわけではありません。

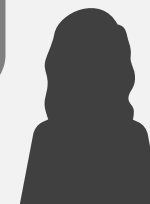
出社勤務の場合には周囲に相談しつつ解決してきた課題も、都度チャットツールやオンライン会議ツールでやり取りしているとそれぞれの業務が滞ってしまいます。結果として、プロジェクト全体が遅延してしまうおそれもあります。

こうしたリスクを未然に回避するために、Withコロナ時代の開発エンジニアには、**専門知識や経験はもちろん、それらを活かして自ら積極的に課題を解決できる応用力が求められます。**



専門知識と経験を活かして、新たな課題も試行錯誤しつつ乗り越えていく。

知識は豊富だが、新しい課題に一人で向き合うのは苦手…。





POINT

3

プロジェクト全体を俯瞰して適切なアクションを取れる

リモートワークにより、開発エンジニアそれぞれが別の場所から1つの案件に取り組むようになると、出勤勤務の場合と比較して、分担された業務の進捗が見えにくくなります。

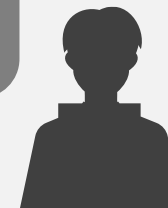
こうした課題は、特にプロジェクトマネージャーとしてプロジェクト全体の進行を管理するような立場になった場合に、特に深刻です。

そのため、進行管理ツールを活用するなど、**対面でのコミュニケーションに頼らないマネジメント能力を磨いておくことが重要**です。



常にプロジェクトの進捗を確認可能な状況で、適切な指示ができる。

都度確認しないと、誰がどの業務をどの程度進めているのかわからない…。





POINT

4

複数の言語を扱えるマルチプレーヤーである

「まだ知らない知識や言語は、配属先が変更された際に集中して習得すれば良い」

このように考えている開発エンジニアの方も多いかもかもしれません。しかし、IT人材が不足する中で、多くの企業が開発エンジニアに対して“即戦力”としての働きを求めています。

そのため、「今、必要かどうか」ということに捉われず、**積極的に複数の言語を学習して習得することは、企業が欲しがると“IT人財”を目指すための近道**と言えるでしょう。



「Java」はもちろん
「JavaScript」など、様々な言語に関する知識を持っている。

これまでに経験した言語についての知識しか持っていない…。





POINT 5

基礎がしっかりしており、部下や同僚を教育できる

開発エンジニアとしてキャリアを進めていくと、プロジェクトを推進する能力だけでなく、部下や同僚を教育しつつ、チームを強化していく能力が求められるようになります。

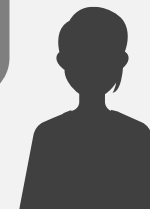
そして、**部下や同僚を教育するためには、開発エンジニアとしての基礎的な能力を持っていることが重要です。**

具体的には、Javaやフロントエンドについて「知識がある」ことはもちろん、「実際に活用できる」レベルの能力が不可欠です。



基礎力をベースに、部下や同僚を教育してチーム力を強化できる。

現在の案件に特化した知識はあるが、基礎言語をきちんと学習した経験はない…。



“IT人財”になるためのポイント まとめ



ここまで解説してきたように、企業が欲しい“IT人財”を目指すためには、次のようなポイントを押さえておくことが重要です。

その1

リモートワークでも積極的にコミュニケーションが取れる

その2

自ら積極的に課題を解決できる

その3

プロジェクト全体を俯瞰して適切なアクションを取れる

その4

複数の言語を扱えるマルチプレイヤーである

その5

基礎がしっかりしており、部下や同僚を教育できる

短期間で開発の基礎力が身に付く！ ジョブサポートの「短期入門・基礎講座」

今回は、開発エンジニアとしてスキルアップを目指すためのポイントをについて解説してきました。基礎力の向上については、他の能力を身に付ける上での土台となる部分だけに、優先して取り組みたいポイントです。

一方で、「通常の業務をこなしつつ、基礎の復習や新しい知識の習得をすることは難しい」と考える開発エンジニアの方もいらっしゃるのではないのでしょうか。そこで**ジョブサポートでは、最短5日間で開発の基礎力を身に付けることのできるサービスとして「短期入門・基礎講座」をご用意しております。**

スキルアップを狙うエンジニアの方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。

ジョブサポート「短期入門・基礎講座」3つの特長



最短5日で基礎力が身に付く！

入門編として5日・40時間で簡単なJavaプログラムの処理を学ぶコースと、基礎編として10日・80時間でJavaScriptの基礎を理解するコースをご用意しています。

理解重視の個別指導を実施！

受講者のプログラム理解度、進捗に合わせて疑問点・不明点が解消できるよう、「自学形式」と「コーチング」を組み合わせた指導を実施しています。

通学でもオンラインでも！

通学講座はもちろん、オンライン・リモート講座にも対応しています。ご自宅から受講していただくことも可能ですので、遠方でも安心してお申し込みください。

「短期入門・基礎講座」サービスメニュー



「短期入門・基礎講座」では、次のようなカリキュラムをご用意しております。

これ以外にもフロントエンドの入門カリキュラムをラインナップしておりますので、ご興味のある方は次ページの問い合わせ先よりお問い合わせください。



研修項目	研修内容 ※12:00~13:00 1Hは休憩時間			
	9:00~12:00	12:00~18:00	5日基礎	10日基礎
データ型と演算子	<ul style="list-style-type: none"> 開発環境 変数 / 配列 	<ul style="list-style-type: none"> データ型 演算子 	○	○
繰り返しと条件文	<ul style="list-style-type: none"> if文 / switch文 for文 / while文 	<ul style="list-style-type: none"> よく使うアルゴリズム クラスとは 	○	○
クラスの基礎	<ul style="list-style-type: none"> クラスとは フィールド / コンストラクタ / メソッド 	<ul style="list-style-type: none"> フィールド / コンストラクタ / メソッド 	○	○
クラスの基礎	<ul style="list-style-type: none"> メソッド呼び出しと引数 	<ul style="list-style-type: none"> オーバーロード / オーバーライド 	○	○
クラスライブラリとコレクションフレームワーク	<ul style="list-style-type: none"> クラスライブラリ 	<ul style="list-style-type: none"> コレクションフレームワーク 	○	○
HTML 基礎 (要素と属性)	<ul style="list-style-type: none"> 環境構築・記述の仕方 	<ul style="list-style-type: none"> 各要素と属性・id属性とclass属性 	-	○
css 基礎 (セレクター / 値 / プロパティ)	<ul style="list-style-type: none"> 記述の仕方・セレクター / 値 / プロパティ 	<ul style="list-style-type: none"> ボックスモデル・その他レイアウト 	-	○
JavaScript (HTML の操作)	<ul style="list-style-type: none"> 記述の仕方・DOM ツリー 	<ul style="list-style-type: none"> HTML の書き換え・id属性の指定 	-	○
JavaScript (関数 / 変数 / 制御文)	<ul style="list-style-type: none"> 変数・関数 	<ul style="list-style-type: none"> 制御文・演算子 	-	○
JavaScript (配列とオブジェクト)	<ul style="list-style-type: none"> 配列・オブジェクト 	<ul style="list-style-type: none"> 並び替え等のアルゴリズム 	-	○

お問い合わせ

ジョブサポートのエンジニア研修については、下記からお気軽にお問い合わせください。

自ら学び、創造する人材へ



社名	株式会社ジョブサポート
所在地	東京都千代田区飯田橋3-11-13飯田橋 i-MARK ANNEX8階
事業内容	法人向けプロエンジニア育成事業（Java・フロントエンド） IT研修教材の企画・開発（Java・フロントエンド） 業務系アプリケーション企画・開発・運用保守 スマートフォン向けアプリケーション企画・開発・運用保守 有料職業紹介事業（有料職業紹介許可 13-ユ-303892）

 job-info@job-support.co.jp

 <https://www.job-support.ne.jp>